



学校教育目標

『かしこく・やさしく・たくましく』

川越小だより

〈目指す学校像〉

「思いやり日本一の学校」

〈磨こう3つの玉〉

- みつげ玉
- しんせつ玉
- がまん玉

4月号

令和5年4月10日

希望の春を迎えて

校長 新家子 直之



麗らかな陽気に、色とりどりの花が咲き、まさに春爛漫の様相です。保護者の皆様、お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。

昨年度の開校150周年を経て、いよいよ新しい歴史と伝統をスタートさせる年となりました。『思いやり日本一の学校』を合言葉にして、児童はもちろん、保護者・地域の皆様と力を合わせて教育活動を進めて参ります。

今朝の始業式で、子どもたちには「思いやりのある行動とは、特別のことはするのではなく、当たり前なことがきちんとできるようにすることです。」と話をしました。なぜなら、当たり前なことというのは、その多くがみんなが気持ちよく生活できるようにするためのことになっているからです。

そのために、①自分で考えて行動できる ②他人の気持ちに共感できる ③強い意志を持って実行し続けることができる つまりは、本校で取り組む「みつげ玉」「しんせつ玉」「がまん玉」の3つの玉磨きをさらに高いレベルで進めていきたいと思えます。

これまで頑張ってきて大きな成果となっている、あいさつ、返事、くつ揃え、もみのき清掃などについても、もう一度見直しをして、今まで以上によくできるようにしていきたいと考えています。

子どもたちが、学校の間だけでなく、家や地域など、どこにいても誰にでも同じようにそれができるようになったら本当の力といえるでしょう。保護者・地域の皆様には、ぜひそれを見取っていただき、できたときには褒め、できていないときには助言や支援をしていただけたら幸いです。

私たち教職員も、子どもたちのようには光らないかも知れませんが、自分の3つの玉と一緒に磨きながら、協力して子どもたちを導いていきます。

長く続いたコロナ禍も、ようやく明ける見通しが持ててきました。学校の教育活動も様々な部分で規制も緩和され、できるようになることが増えていくこととなります。これから、子どもたちには存分に活躍して、一人一人の良さをどんどん伸ばしてもらいたいものです。

希望を持って新学期をスタートさせた子どもたち、そして見守っていただく全ての人たちにとって、この一年間が充実したものになることを願っています。

4月6日（木）準備登校

新6年生が、準備登校として、各教室の机イスの数調整や、新1年生の教室づくりなどをしました。新1年生の笑顔の思い浮かべながら、重い机を運んだり、少ない人数で多くの場所を掃除したりと、思いやり日本一の学校にふさわしい姿でした。

